

平成 27 年度東部地区事例報告会開催のご案内

(現職者共通研修対応) **最新版**

初秋の候、ますます御健勝のこととお慶び申し上げます。

早速ですが、平成 27 年度東部地区事例報告会を下記の通り開催します。

この事例報告会は、日本 O T 協会生涯教育制度の現職者共通研修対応です。参加者は事例検討方法論と事例検討、発表者は事例報告が履修できます。

また、事例報告会に多くの先輩作業療法士の参加により、作業療法全体の質の向上に繋がると思いますので、ぜひ 1 人でも多くの先輩作業療法士の参加をお待ちしています。

記

1. 開催日時 **平成 27 年 10 月 18 日 (日) 10:00~16:20**

2. 会場 沼津市市立図書館

〒410-8533 沼津市三枚橋町 9 番 1 号 TEL. 055-952-1234 FAX. 055-952-1219

URL <https://www.tosyokan.city.numazu.shizuoka.jp/>

車で来られる方へ 施設の駐車場は台数に限りがあり一般の方も利用しますので
駅周辺の駐車場をご利用ください。

3. 参加費 事例検討方法論の参加者 500 円
事例報告会の参加は無料

4. プログラム (事例報告会：発表時間は 7 分、質疑応答 5 分とします。)

受付 10:00~

1. 10:40~12:10 第 1 部 事例検討方法論

金子智治氏 (JA 静岡厚生連 リハビリテーション中伊豆温泉病院)

2. 13:00~14:00 第 2 部 事例報告会 1

1) ニーズの再獲得困難による精神的な落ち込み後、自尊心を再獲得した 1 事例
ーリカバリー概念を用いての振り返りを通してー

小見彩乃氏 (農協共済中伊豆リハビリテーションセンター)

2) 「お兄さんのお手伝いがしたい」

家族への思いから互助関係を目指した 1 事例
ー自発性への好連鎖ー

林彩菜氏 (独立行政法人国立病院機構静岡医療センター)

3) 畑作業に着目して介入した事例

ー認知症利用者とその家族支援について学んだことー

横山美紀氏 (NTT 東日本伊豆病院)

- 4) 言葉による意志疎通が困難な事例に意志質問紙 (VQ) を使用した介入
安達理沙氏 (農協共済中伊豆リハビリテーションセンター)
- 5) デイケアプログラムにてリーダーシップを発揮することができた統合失調症の一症例
—ナラティブと人間作業モデルを用いて—
井上 和氏 (ふれあい沼津ホスピタル)

3. 14:10~15:10 第3部 事例報告会2

- 1) 退院への意欲低下がみられた対象者に対して、意欲向上を目的とした介入を行った事例
—調理訓練を通して—
芹澤利浩氏 (長岡リハビリテーション病院)
- 2) 調理監視レベルから目標を見直すきっかけとなった症例
石井智子氏 (JA 静岡厚生連 リハビリテーション中伊豆温泉病院)
- 3) 「頸髄症を呈し著しく生活能力が低下した事例の出来る動作の獲得に向けて」
—食事動作へのアプローチを通して—
鈴木辰弥氏 (富士いきいき病院)
- 4) 把握反射を呈した一症例
—整容動作獲得に向けての介入—
関淳子氏 (国際医療福祉大学熱海病院)
- 5) 自助具の検討により重度認知症患者が食事動作を獲得した一症例
鈴木美咲氏 (国際医療福祉大学熱海病院)
- 6) 人工膝関節置換術後の関節リウマチ症例における歩行分析と関節保護
勝又沙那恵氏 (JA 静岡厚生連 リハビリテーション中伊豆温泉病院)

4. 15:20~16:10 第4部 事例報告会3

- 1) 右片麻痺の症例に対する余暇活動の導入
—なじみのある作業を通して—
木島将悟氏 (伊東市民病院)
- 2) 脳卒中後抑うつに対する支持的アプローチ —麻痺側の ADL 参加が自己効力感を高める—
奥田舞氏 (順天堂大学医学部附属静岡病院)
- 3) 補助手獲得に向けて麻痺側手の段階的な使用を促し使用頻度が拡大した症例
角脇幹史氏 (JA 静岡厚生連 リハビリテーション中伊豆温泉病院)
- 4) 転倒により頭部外傷となった後期高齢者の居場所再獲得をめざした症例
明地望氏 (JA 静岡厚生連 リハビリテーション中伊豆温泉病院)

5. 参加申し込み

静岡県作業療法士会ホームページにてお願いいたします。

<http://otshizuoka2.sakura.ne.jp/kaiin/>

6. 問い合わせ

JA 厚生連 リハビリテーション中伊豆温泉病院

作業療法科 金子智治

TEL : 0558-83-3333 Eメール : tmkaneko2010@gmail.com